

わが医院のPMTc



埼玉県春日部市開業
歯科医師 歯科衛生士
渡辺 勝 長山 和枝

はじめに

皆さん、PMTcしていますか？ また、何を目的に施術していますか？ 当院では一言でいうと「爽快感を味わってもらおう」を目標にSRP後やメンテナンス時に行っています。「歯を磨くだけでこんなにさっぱりするんだ」とか「痛くもないし、気持ちいい!」と思ってもらえればしめたものです。「またキレイにしてもらいに行こう」と思って頂けるでしょう。歯科医院は嫌な所というイメージが付きまといがちです。しかし、気持ち良い事をしてもらうためにいく所であれば皆さん積極的に来院して頂けるのではないのでしょうか？

歯面が研磨されツルツルになっている状態はとても気持ちがいいもので終了後は

皆さん喜んでもらえます。分厚いバイオフィルムを形成しているプラークをホームケアだけで落とす事は容易ではありません。頑張っても落とそうとするあまり歯肉を傷つけてしまうかもしれません。部位や形態的な問題で歯ブラシを当てにくい場所、習癖等で当たっていない所は大体が同じ所です。これらホームケアで落としにくいバイオフィルムを破壊し、歯面を研磨し、ツルツルにしてあげると、プラークやステインも付きにくくなるようです。さらに繰り返し徹底したPMTcを行っている、プラークの質がさらさらと落としやすく変化したり、PFRI(プラーク形成速度)が遅くなったりすることも

あります。

しかし、不適切な器具の使用方法では逆に歯肉を傷つけてしまう事もあります。痛い思いをさせてしまっただけではいくら虫歯予防や歯周病予防に良いとわかっていても来院の動機付けにはなりません。患者さんは嫌な思いをしたことだけが印象に残ってしまいます。逆になるべく不快感を与えないように、丁寧に、歯肉を傷つけないように細心の注意を払い施術すると、術後30分ぐらいでも歯肉はその表情を変えてくることもあります。プラークを取るだけでなく「気持ちいい!」を味わってもらえるようなPMTcしてみませんか？

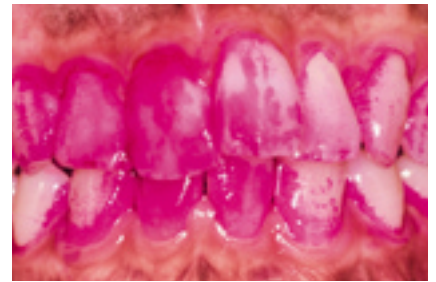
1. 当院におけるPMTc



1.1 当院で使用している染色材・研磨ペースト。染色感度、味、などで使い分けている。



1.2 プロスペックにてプラークの染色中。歯面とのなじみがよく、さっと広がる。



1.3 染め出し後の状態、他社製品と比較すると染色感度が高く感じる。



1.4 当院でPMTcに使用している主な器具・器材の一覧。



1.5 PTCブラシによるポリッシング。コンパクトなので様々な角度からのアクセスが可能。適度なコシがあるため、清掃性に優れている。また、毛の硬さが丁度良いので歯肉への痛みも少なく患者さん受けも良い。



1
6

PTCブラシによるポリッシング終了。ほとんどのステイン、プラークは除去できるが隣接面や歯肉溝内のプラークは除去できていない。



1
8

PTCコーンによる隅角部の研磨。先端が細く柔らかいので歯周ポケットの清掃にも適している。



1
9

PTCカップによる研磨。カップ辺縁部が柔らかくフィット性が良いので無理なく歯肉縁下も研磨できる。ブラシでできた歯面の傷なども研磨しておく。



1
10

内面がダイヤモンドパターンになっているため、研磨材の飛散が少ない。



1
11

ほど良いミントとレモンの味と香りが好評のPTCペースト。特にファインでの研磨はより歯面に艶が出る。



1
12

歯間部のフロッシング。プラークを完全に除去するとキュッキュッとガラス面を磨いたような音が確認出来る。



1
13

PMTC終了後。綺麗な口腔内を体感する事により患者自身によるホームケアの向上が期待できる。



1
14

綺麗になった。



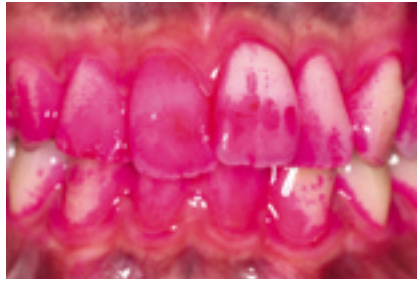
1
15

まだ、3歳になる前からPMTCを行うと歯医者に対する認識が「治療するところ」から「歯を綺麗にするところ」に意識が変わるかもしれない。痛くないようにやれば嫌がられることもない。

2. 症例①



2
・
1 21歳・男性。口呼吸が認められる。



2
・
2 プロスペックによる染め出しを行う。



2
・
3 PMTC直後。PMTCの際に歯肉に傷をつけてしまっている。患者さんに苦痛を与えてしまうばかりか治癒も遅らせてしまう。



2
・
4 下顎前歯部にステイン・プラークの沈着による軽度の歯肉炎が認められる。



2
・
5 PMTCを確実に実施するために、染色感度の高いプロスペックを主に使用している。



2
・
6 PMTC後30分経過。プラークは除去されているが歯肉に変化は認められない。



2
・
7 2
・
8 PMTCから1週間経過。表面の傷は消えているが、煩雑なPMTCは患者さんに不快感を与えてしまう。また、長期にわたり繰り返すことは、歯肉を下げってしまう可能性もある。



3. 症例②



3
・
1 PTC歯間ブラシによる研磨。広い歯間部隣接面に適している。



3
・
2 孤立歯の近心面の研磨。カップではヘッドが当たって磨き難い面も容易に研磨できる。



3
・
3 PTC歯間ブラシ。毛の硬さも丁度良く、歯間に挿入する角度さえ注意すれば折れにくく、操作しやすい。歯間部の清掃が効率良く行える。

4. 症例③



4
・
1

32歳・男性。ヘビースモーカー。



4
・
2

上顎前歯部正面観。ロール状の歯肉の肥厚が認められる。



4
・
3

下顎前歯部正面観。タバコによる歯面の着色と歯肉に軽度の炎症が認められる。



4
・
4

PMTC後30分経過。ほとんど歯肉に傷はついていない。



4
・
5

PMTC後30分経過。上顎中切歯歯間乳頭部の腫脹が引いている。



4
・
6

PMTC後30分経過。右側の下顎中切歯の近心部等、腫脹が引いている。



4
・
7

術前。上顎前歯部の左側面観。



4
・
8

PMTC後30分経過。傷をつけずにPMTCを行うことにより、炎症の速やかな改善と爽快感を得ることが出来る。

まとめ

当院ではPMTCを行う事で「プラークを取る」という直接的な効果だけでなく、「爽快感を味わっていただく」という間接的な効果も狙っています。そのためには部位や状態にあった適切な器具、器材の選択とその使用方法が重要になってきます。そしてこの爽快感は、積極的にホームケアを行っていくための動機付けの場としても

利用出来ます。一度キレイな状態になると患者さんもそれを維持しようと頑張ってくれます。また、患者さんとの情報交換の場としても活用しています。患者さんと雑談しながら「間食の回数減りましたか？」等ホームケアの状態を確認したり、体調や生活環境に変化がないかを確認しています。そして患者さんと相談して次回のメイ

ンテナンス時期を決めています。

口腔内の環境を良好なまま維持していく事で患者さんのQOLの向上にも貢献できるかと思われます。健康な状態を患者さんと一緒に守り育てていける歯科医院を目指し、PMTCを通して気持ちの良いお付き合いを続けていきませんか？